医療法人春風会 田上記念病院 広報誌

春風だより

はる かぜ

2023年
春号
No.20

特集

第35回鹿児島県理学療法士学会 “学会奨励賞”受賞

巻頭言　事務長 針山博之……2
地域連携室より……3
看護部より　新入職員の研修模様……4
特集　第35回鹿児島県理学療法士学会 “学会奨励賞”受賞……6
回復期リハビリテーション病棟　新車椅子導入……7

巻頭言

地域の皆様に必要不可欠な存在であり続けたい

田上記念病院 事務長
針山 博之

私たちは、地域医療に貢献することを使命とし、地域の皆様に信頼される医療機関であることを目指しています。また、患者様に最高の治療環境を提供するために、リハビリテーション支援ロボット（ウェルウォーク）などの医療機器や設備を導入し、地域の医療ニーズに応える取り組みに励んでいます。

私たちの病院の特長の一つは、地域の患者様に寄り添った医療の提供と地域の他の医療機関との協力体制を整備して、地域全体で医療の質の向上に努めていることです。私たちは、地域の患者様や他の医療機関と緊密にコミュニケーションを取り、患者様の病状やニーズに合わせた適切な医療を提供することで地域医療に大きく貢献していくことを目標にしています。

現在は、新型コロナウイルスの影響により社会生活に大きな変化が生じていますが、私たちは、感染予防対策を徹底し、地域の皆様が安心して受診できるよう努めてまいりました。コロナウイルスが終息した後も、当院の医療機関としての役割は変わりません。当院は、柔軟に対応して、患者様の健康と安全を最優先に考えた医療を提供し続けたいと考えています。また、長い間面会制限を行っていましたが、患者様にとってはご家族等との面会の減少により心身の健康への悪影響が懸念されるため、面会を再開することは極めて重要と考え、今年の春から直接面会を再開いたしました。

私たち田上記念病院のスタッフは、常に患者様の立場に立ち、丁寧な医療を提供することを心がけて、患者様が安心して治療を受けられるよう、全力でサポートしていきたいと考えております。何かご不明な点やお困りのことがありましたら、どうぞお気軽にお声をおかけください。私たちは、患者様のニーズに応えるために努力し続け、地域の皆様にとって必要不可欠な存在であり続けることをお約束いたします。

TOPICS

地域連携室より

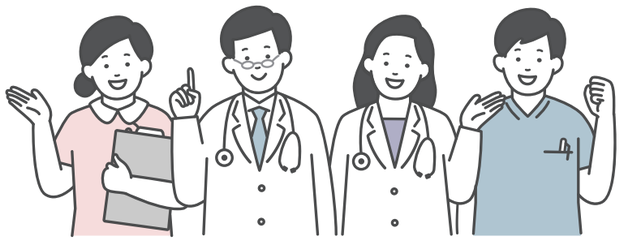
すべての人に明るい未来を

～地域への架け橋を目指して～

当院の地域連携室では、看護師と社会福祉士が業務にあたっています。

主な業務内容は、地域連携業務と医療福祉相談業務です。地域連携業務では、前方支援（紹介入院などの転院調整）や後方支援（在宅退院調整、転院・転所調整）およびレスパイト入院調整などを行っています。医療福祉相談業務では、外来や入院患者の方々が抱える経済的、心理的、社会的な問題について相談に応じ、また、地域の医療福祉関係者からの相談にも対応しています。

現在、高齢社会が進む中で、医療機関でも身寄りのない方の保証人問題や治療に関する意思決定支援など、様々な問題が山積しています。こうした中でも、私たちは患者さまが、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、住まい、医療、介護、予防、生活支援が一体的に提供される取り組みの実現が直近の課題として求められていると考えています。そのために、地域連携室は、地域や地域の医療福祉機関と連携を図り、問題解決の架け橋となる存在になるために、今後も精進していきたいと思います。



地域連携室 淵上 隆実

鹿児島市立病院広報・医療連携誌「PARTNERSHIP」の取材をお受けしました

過日、鹿児島市立病院様の病院広報・医療連携誌「PARTNERSHIP」内の連載企画、「鹿児島医療連携」最前線の取材をお受けし、医療連携と当院の協力体制についてお話させていただきました。

TOPICS

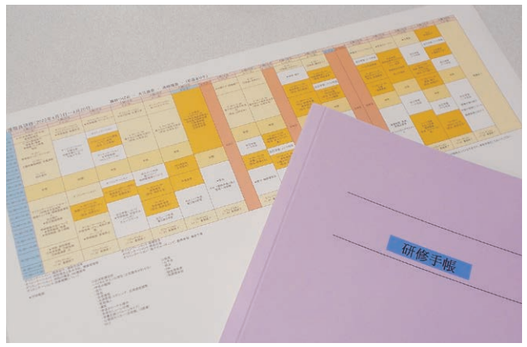
看護部より

2023年度がスタートしました！

田上記念病院では総勢14名の看護師、理学療法士、作業療法士、ソーシャルワーカー、臨床検査技師が仲間入りしました！

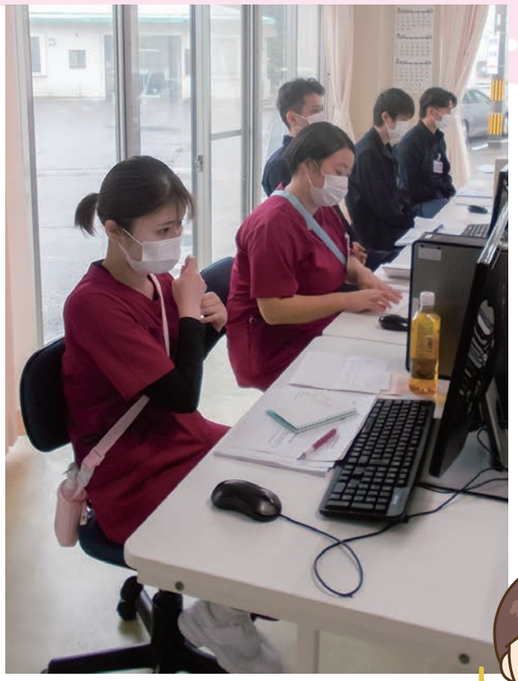
そのうち、看護部では３名の新人ナース(新卒者)を迎えました。

初めての臨床の現場に期待と不安を持っている様子がとても初々しく、彼女達のナースとしての今後が素晴らしいものになるよう、看護部としても応援していきたい気持ちでいっぱいです。



今回は、田上記念病院で実施している新卒者研修を紹介します。期間は3週間、現場配属まで、接遇やコミュニケーション技術、看護倫理、個人情報保護など、社会人として、医療職に携わる者として必要な社会性を身につけます。

また、日本看護協会の研修手帳を利用し目標を定め、学び成長していけるよう応援していきます。

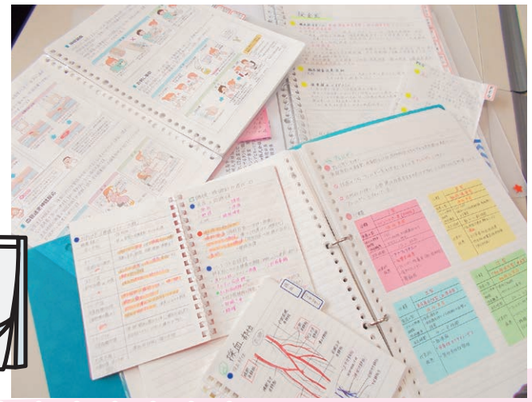


田上記念病院のマニュアルに添いベースとなる看護技術の習得、ＩＴ担当者より電子カルテの使用方法など基本的な事を学びます。

そして、地域連携室、リハビリテーション部、薬剤科、栄養科、検査室、放射線科、医療安全管理委員会、感染対策委員会、身体抑制廃止委員会など各部門からの講義を受け、病院の組織理解から協力体制を紹介し、チームの一員として働けるよう応援しています。

今回は個人の学習習慣の習得も目指し、自己学習ノートを各自が作成しています。自分なりの疾患ノートや手順書、お薬ノートなど工夫し作成しています。これからも医療の進歩に伴い学び成長していけるナースであって欲しいと願っています。

３名も緊張の中、田上記念病院の一員として、仲良く頑張っています。どうぞ、今後も彼女達の成長を暖かく見守り、ご指導をよろしくお願いいたします。



第35回鹿児島県理学療法士学会 “学会奨励賞”受賞

田上記念病院
理学療法士 **蔵ヶ崎 大地**

第35回鹿児島県理学療法士学会にて、当院の理学療法士の蔵ヶ崎大地さんが学会奨励賞を受賞しました。学会奨励賞は、将来性を期待されている方におくられる賞になります。

演題名 **『当院におけるリハビリテーション支援ロボット「ウェルウォークWW-1000」による重症脳卒中患者への歩行練習とADLの関係性～運動FIMによるアウトカム評価に着目して～』**

当院の最先端リハビリ支援ロボットのウェルウォークを使用して、使用前後での活動能力についてまとめました。

※現在は「ウェルウォークWW-2000」にバージョンアップし、より安全で効率的なリハビリテーションを提供しております。

▼リハビリテーション部の学会発表歴（一部抜粋）

2021.11	九州理学療法士学術大会2021fromSASEBO長崎（PT田中精一） 「2ステップ値を参考に歩行手段の決定について合意を得られた 訪問リハビリ利用者の一症例」
2021.11	第31回鹿児島県作業療法士学会（OT福留雄介） 「麻痺側上肢・手指に電気刺激療法とミラーセラピーを併用し、機能改善と腫脹、疼痛の軽減を図れた症例」
2022.2	第35回鹿児島県理学療法士学会（PT蔵ヶ崎大地） 「当院におけるリハビリテーション支援ロボット「ウェルウォークWW-1000」による重症脳卒中患者への歩行練習とADLの関係性～運動FIMによるアウトカム評価に着目して～」
2022.3	第9回慢性期リハビリテーション学会（ST永野雅也） 「フレイル・サイクルに肺炎が加わり摂食嚥下障害を呈した患者にKTBCによるチームアプローチを行った1症例」
2023.2	第36回鹿児島県理学療法士学会（PT立石みさき） 「栄養障害を呈した大腿骨転子部骨折患者に対し低強度運動を実施し自宅復帰可能となった1例」
2023.3	第10回慢性期リハビリテーション学会（OT山本達也） 「訪問リハビリテーションにより服薬管理が可能となった一症例」

リハビリテーション部は学会・研究発表にも力をいれています。日々自己研鑽に励み、患者様へのリハビリテーションがより良いものとなるべく、リハビリテーション部一同これからも精進していきます。

＼ 回復期リハビリテーション病棟に ／

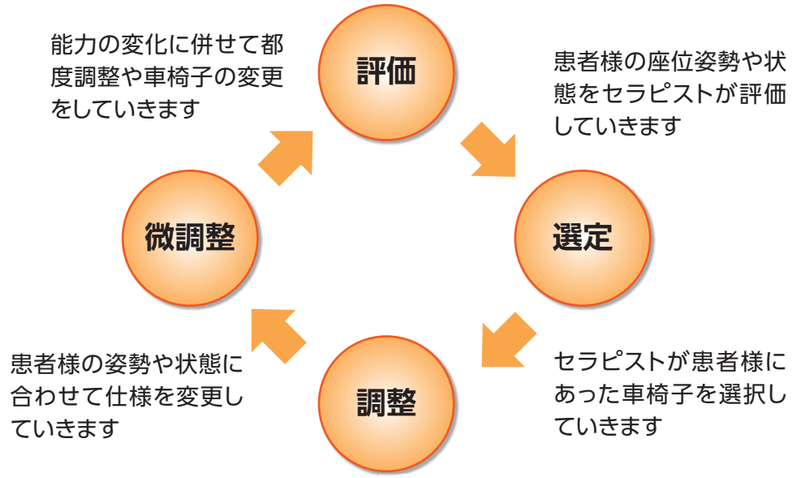
新しい車椅子を導入しました

当院は車椅子業者と連携し、患者様の身体的評価をもとに、より患者様の体に適合した車椅子を提供いたします。患者様の体の回復に合わせて車椅子を調整し、院内での活動時間と活動効率を向上させます。車椅子が単なる移動手段ではなく、リハビリテーションの効果を増加させる道具として、患者様の早期回復を支援いたします。

車椅子導入のメリット

①離床促進
②二次障害の予防
③ADL獲得

車椅子選定の流れ



導入している車椅子は 3タイプ

モジュール型
スマートプラス

必要性の優先順位を吟味して、省くべきところは省き、残すべきところは残した大変な優等生。

モジュール型
BEAN

現代の標準的なサイズに合う、新しいBasic車椅子。

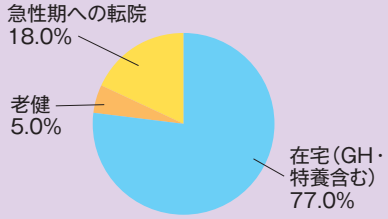
リクライニング式
ネッティBASE

“パーツの組み替えによってユーザーへの個別性へ効率的に追従する”本質を持った車椅子。

業者さんと一緒に勉強会も開催しました!

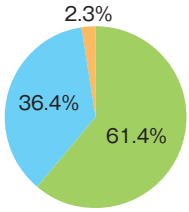
回復期リハ病棟診療統計データ（2022年10月～2023年3月）

退院先割合



※死亡・急性期への転院を除く在宅復帰率…94.4%

疾患別退院患者割合



	脳血管疾患、脊髄損傷、頭部外傷、くも膜下出血のシャント術後、脳腫瘍、脳炎、急性脳症、脊髄炎、多発性神経炎、腕神経叢損傷等の発症または手術後、義肢装着訓練を要する状態（高次脳機能障害を伴った重度の脳血管障害、重度の頭髄損傷、頭部外傷を含む多部位外傷の発症又は手術後）
	大腿骨、骨盤、脊髄、股関節又は膝関節、2肢以上の多発骨折
	外科手術又は肺炎等の治療時の安静による廃用症候群
	大腿骨、骨盤、脊髄、股関節又は膝関節の神経、筋又は靭帯損傷

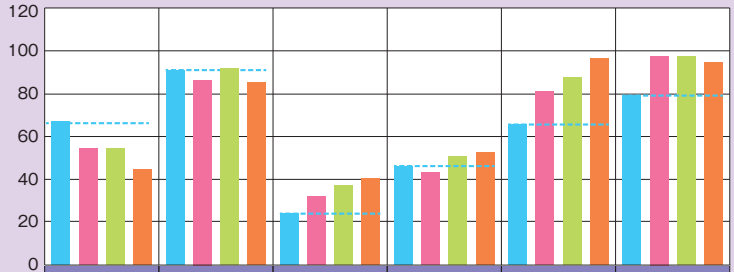
回復期リハビリテーション病棟 退院患者データ

	脳血管系		整形外科系		廃用症候群		全体	
	当院	全国	当院	全国	当院	全国	当院	全国
入院時FIM（平均）	46.1	59.5	40.9	70.7	61.0	56.4	44.8	65.3
退院時FIM（平均）	88.7	83.5	77.1	96.4	111.0	74.7	85.4	89.8
FIM利得（平均）	42.6	24.0	36.2	25.7	50.0	18.2	40.6	24.5
実績指数	52.5	54.1	48.8	44.1	110.3	36.0	52.4	45.3
在院日数	119.1	81.6	60.8	55.0	40.0	54.3	96.6	66.2
在宅復帰率							94.4	77.9

全国データは回復期リハビリテーション病棟の現状と課題に関する調査報告書を引用(一般社団法人回復期リハビリテーション病棟協会2023年2月23日発行)

※実績指数:回復期リハビリテーション病棟における直近の実績指数（平成28年3月4日保医発0304第3号）別添1第 1章第2部第3節A308（12）イに示す方法で算出

回復期リハビリテーション病棟実績



	入院時FIM	退院時FIM	FIM利得	実績指数	在院日数	在宅復帰率
全国平均	67.0	91.0	24.0	46.2	65.6	79.1
2022.4月～2022.9月	54.4	86.4	32.1	43.1	81.1	97.6
2022.7月～2022.12月	54.6	91.8	37.2	50.7	87.5	97.2
2022.10月～2023.3月	44.8	85.4	40.6	52.4	96.6	94.4

※**FIM（機能的自立度評価表）**：実際に行っている日常生活動作の能力を評価したものです。全18項目を介護量に応じて完全自立～全介助までの7段階で評価します。点数が高いほど自立度が高くなります。

※**FIM利得**：日常生活動作能力の改善値を示しています。（退院時FIM－入院時FIM＝FIM利得）

医療法人 春風会

田上記念病院

〒890-0033 鹿児島市西別府町1799番地

TEL：**099-282-0051**　FAX：**099-282-6600**

地域連携室　TEL：**0120-83-0051**　**院長：中村浩一郎**

メールアドレス　**info@shunpukai.com**

診療科目

内科，循環器内科，消化器内科，脳神経内科，膠原病内科，心療内科，泌尿器科，リハビリテーション科，歯科

診療時間

午前／**9:00～12:30**　午後／**2:00～5:30**

交通アクセス

●お車でのご来院　鹿児島ICより松元方面へ約5分
鹿児島中央駅より約15分

●バスでのご来院　鹿児島中央駅からご利用の場合：
南国交通バス／鹿児島中央駅東口18番乗り場
【池田高校前】行き、【石谷】行き、【下入佐】行き、
【飯牟礼郵便局】行き、池田高校前バス停下車　徒歩約5分

介護老人保健施設
ナーシングホーム田上苑

〒890-0032
鹿児島市西陵6丁目21-18
TEL：**099-283-0120**
○介護老人保健施設（老人保健施設）
○短期入所療養介護（ショートステイ）
○通所リハビリテーション（デイケア）

介護付有料老人ホーム
クレセール天保山

〒890-0056
鹿児島市下荒田2丁目39-1
TEL：**099-806-0033**

介護支援事業所　はるかぜ

〒890-0056 鹿児島市下荒田2丁目39-1
TEL：**099-812-4305**

グループホーム（認知症対応型共同生活介護／介護予防）
春風会グループ・きららグループ

（提携特養）

特別養護老人ホーム　やすらぎの里（社会福祉法人みらい）

〒899-5543 鹿児島県姶良市下名2992
TEL：**0995-65-1641**

特別養護老人ホーム　松恵園（社会福祉法人みらい）

〒890-0033 鹿児島市西別府町1920
TEL：**099-282-7520**

ホームページ　**https://tagamikinen-hp.jp/**

春風だより　2023年 春号　No.20　発行：医療法人春風会　田上記念病院